

学校法人沢田学園しらかば幼稚園

令和6年度 学校評価結果公表シート

1、園の教育目標

- ① 教育基本法、学校教育法及び幼稚園教育要領に基づき、幼児の健全な成長を図ります。
- ② 幼児の社会性を養い、自主性を尊重し、のびのびと遊べるよう導きます。
- ③ 自己の形成、自立の基礎を養い、友人との交わりを大切にし、温かく指導します。
- ④ 幼児一人ひとりが充実した生活が送れるよう家庭と幼稚園とが連携を取り、愛情ある保育を重点とします。
- ⑤ 明るい環境、発達にあった教材、施設を与え、幼児の創造力を伸ばす保育を通じ、心身ともにバランスの取れた発達を促します。

2、具体的な目標や計画

短期の目標

- ① 基礎的生活習慣を身に付けること
- ② いろいろの遊びの中で十分に身体を動かし、進んで戸外で遊ぶ。
- ③ 危険な場所、危険な遊び方が分かり、安全に気を付けて行動する。
- ④ 友だちと楽しく生活の中で、決まりの大切さを気付かせる。
- ⑤ 先生や友達と食べることを楽しむ。

中長期の目標

- ① 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。
- ② 周囲の人やものへの興味や関心が広がり、生活の仕方や決りがわかり、自分で遊びを広げる。
- ③ 友達同士で目的を持って幼稚園生活を展開し、深めていく。
- ④ 友達とイメージを伝え合い、共に生活する楽しさを知る。
- ⑤ 自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。

3、評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
① 教育課程及び指導について	A ② C D	・保護者アンケートの結果からニーズを把握し、必要に応じて改善を図っている。
② 保健管理について	A ② C D	・保健安全計画を作成し、園医等の意見を聴取のうえ、必要な点検を実施している。 ・食物アレルギーに対応するため、年度当初に「学校生活安全管理表」を配布し、該当者を把握。給食の卵など、該当食品の変更を行っている。 ・年長児を対象に体力測定・視力検査を実施した。

		・全園児に対し、内科・歯科の健康診断を実施した
③ 安全管理について	A ㉓ C D	・防犯装置・監視カメラ・110 番通報連絡システム・119 番通報装置などの保守点検を実施している。 ・避難訓練を年 8 回実施(うち 1 回は引き取り訓練)。そのうち 1 回は消防署立会いのもと、通報・避難・消火訓練を実施した。 ・避難用すべり台を使用した避難訓練を実施した。 ・教室等の施設や遊具などの安全点検を定期的に行い、必要な修繕を行っている。 ・平成25年度より、大型遊具からの転落時の衝撃を軽減するため、ゴムチップ舗装を導入しており、令和 6 年度は劣化部分の補修工事を実施した。 ・令和6年度には正門門扉の交換および電子錠の設置により、IC カードによる入退場管理システムを導入した。また、事務室内のセキュリティシステムを更新した。
④ 特別支援教育について	㉑ B C D	・臨床発達心理士を2名委嘱し、気になる子どもの支援に関する教諭への指導、保護者からの相談、未就園児教室における保護者支援などを実施している。
⑤ 組織運営について	A ㉓ C D	・職員会議において、行事の確認や検討のみならず、園内の課題に関する共有と共通理解を図っている。 ・教職員に年間目標や成果、反省点、要望事項、園への提案などを「自己申告書」として提出させ、組織の活性化を図っている。
⑥ 研修について	A ㉓ C D	・県・市・埼私幼連・市私幼協などが主催する研修には、可能な限り参加させている。 ・夏休み期間中は、職員が自ら選んだ研修に参加し、その後の報告を職場内研修の一環として実施している。
⑦ 教育目標・学校評価について	A ㉓ C D	・自己評価および学校関係者評価を毎年実施し、内容の改善に取り組んでいる。
⑧ 情報提供について	A ㉓ C D	・保護者には年間行事予定表、月報、週報などを配布し、また「ほけんニュース」など保育に関する参考情報も適宜提供している。 ・園児募集状況や未就園児教室、園見学会、入園説明会の開催情報をホームページや公式 LINE で発信している。 ・さいたま市発行の「子育て応援ブック」「子育てきっかけ応援ブック」やポータルサイト「さいたま子育てWEB」へも、子育て情報を継続的に提供している。 ・自己評価の結果については、ホームページ上に掲載

		している。
⑨ 保護者・地域住民との連携について	A B ㉔ D	・保護者会は令和6年度より解散しており、保護者へ協力してもらう体制に苦心している。また、必要に応じてアンケートを実施し、寄せられた意見等は可能な限り反映している。 ・園評議員には地元自治会の役員等の就任を依頼し、また運動会などでは自治会交通委員会に周辺の交通安全指導を依頼し、地域との連携を深めている。
⑩ 子育て支援について	㉠ B C D	・未就園児教室を年間7回開催し、初めての集団生活を体験する機会を提供。あわせて、保護者への保育に関する情報提供を行っている。 ・また、「りんご組」として未就園児対象の体験会を年5回実施し、保護者同士の交流の場としても活用している。 ・希望者には、臨床発達心理士による個別相談を受け付けている。
⑪ 預かり保育について	A ㉡ C D	・平日は朝8時から9時、保育終了後は18時30分まで、長期休業期間は8時から18時30分まで、1日あたり最大10時間30分の預かり保育を実施している。 ・当園の預かり保育は見沼区内でも充実しており、さいたま市内101園中でも上位クラスの水準である。
⑫ 教育環境整備について	A ㉡ C D	・園舎の耐震化および電気設備のLED化を実施し、また令和5年度に太陽光発電を設置し、教育環境の整備を進めている。 ・図書室の充実化を図り、環境の質向上に努めている。 ・駐輪場の整備を行った。 ・令和6年度には、駐車場までの砂利道を舗装し、安全性と利便性を高めた。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B	評価項目に沿って自己点検および自己評価を実施した結果、12項目中、A評価が2項目、B評価が9項目であり、C評価が1、D評価は該当しなかった。 また、B評価は全体の60%を占めていることから、総合評価は「B」とした。

○結果(※)について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
学校評価について	自己評価の結果については、令和7年度に公表を実施する予定である。
情報提供について	ホームページには、可能な限り最新の情報を掲載・提供するよう努める。
安全管理について	「危険等対処要領」の内容について、さらなる充実を図ることを検討している。
子育て支援について	・未就園児教室「うさちゃん」に加え、平日に未就園児教室「りんご組」も実施している。 ・さいたま市の子育て支援制度を活用し、預かり保育の無償化を実施した。 ・平日に未就園児対象の「りんご組体験会」を年5回開催し、保護者同士の交流の場や、育児に関する不安・悩みを共有・相談できる子育て支援の機会を提供した。
預かり保育について	さいたま市の子育て支援制度の導入により、預かり保育時間の延長および土日実施の可能性についても、今後検討していく。
教育環境整備について	・さいたま市の子育て支援制度の導入により、さらに教育環境の充実を検討している。 ・未就園児対象の「りんご組」を週2回(火・水クラス、木・金クラス)で実施している。